

令和6年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：医学部附属病院

事業担当者の職・氏名：准教授・島本 亮

内線電話番号：7601

電子メール：jj6jdv@med.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内、別に副題を付けても良い）

学部間協定校(ワシントン大学)との持続的・安定的な双方向型の交流基盤の構築

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要 (簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください)

本事業は、三重大学医学部と米国ワシントン大学との学部間協定に基づき、同大学医療センターにおける「海外エレクトティブ」を実施することで、国際的な視野を持つ医療人材の育成を図ることを目的とした。併せて、将来的な双方向型交流の安定的な継続を目指し、受入教員招聘の準備も進めていた。

(2) 事業の背景・これまでの実績

ワシントン大学との交流は 2005 年に開始され、これまでに 100 名を超える本学医学科・看護学科学生が海外エレクトティブや早期海外体験学習を経験してきた。2020 年以降のコロナ禍により一時中断されたが、2023 年度より再開し、2024 年度も継続的实施が計画された。学部間協定は 2022 年に更新済であり、交流 10 周年記念行事も視野に入れていた。

(3) 事業実施結果

1. 海外エレクトティブ

2024 年 4 月、本学医学科 6 年生 3 名が、米国ワシントン大学 Medical Center および関連施設において 2 週間の臨床実習(海外エレクトティブ)を実施した。本プログラムは、心臓血管外科・呼吸器外科を中心とした高度専門領域における医療実践に触れ、国際的な視野と臨床的洞察を深めることを目的としたものである。引率教員は前半 1 週間のみ同行し、現地の教育・診療体制との連携のもと、円滑かつ安全な実習が行われた。

主な実習内容は以下のとおりである：

- 1 日平均 2~4 件の手術見学(Ross 手術、David 手術、Bentall 手術、心移植、肺移植等を含む)
- ICU 回診、専門医によるカンファレンス、関連病院(Harborview Medical Center 等)での視察
- 医療スタッフ(physician assistant、perfusionist 等)との交流を通じたチーム医療理解
- 緊急手術(移植等)における即時対応の観察と臨床判断プロセスの学修

学生らの報告によれば、本実習は単なる観察にとどまらず、英語による積極的な対話、臨床現場での判断への理解、専門医からのフィードバックなど、極めて実践的な学びが得られた。将来の専門選択や国際的キャリア形成への動機付けとしても極めて有意義であったと評価されている(詳細は別添の個別報告書・報告会資料を参照)。

2. 先方教員の受入

当初計画では、2025 年 1 月 25 日に「学部間協定 10 周年記念講演会」を開催し、ワシントン大学より教員 2 名を招聘する予定であった。本学内での開催に向けて準備を進めていたが、先方の都合により本年度内での招聘が困難となったため、講演会は見送

ることとなった。

これにより 2024 年度における先方教員受入は実現に至らなかったが、今後の調整状況や両大学の協議の進展を踏まえ、再度の招聘および交流機会の再構築を検討する方針である。

(4) 事業の意義

海外エレクトィブは、語学力に加えて多様な医療文化に触れる貴重な機会であり、学生の国際的素養の涵養に資する。本学と海外協定校との国際連携の可視化にも寄与する取り組みである。

(5) 事業の発展性

本事業により、ワシントン大学との学術的信頼関係を再構築することができ、現地教員との協議を通じて以下の点で将来に向けた交流の拡充について合意が得られている：

- **本学学生派遣型実習の継続的实施**
- **対象診療科の拡大（胸部外科を窓口とし、循環器内科・小児科・麻酔科・救急科にて学生受入）**
- **将来的な教員および学生の双方向交流の実現に向けた継続協議**

特に、複数の診療科が本学学生の実習受入に関心を示しており、教育内容の多様化・個別化への展開が期待される。現地との人的・教育的ネットワークも形成されつつあり、今後も部局間の調整を通じて段階的に国際交流の幅を広げていく計画である。

また、オンラインを活用した教育連携（COIL や VE など）の導入可能性についても検討を進めており、対面型交流と並行した形での教育国際化の展開が視野に入っている。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

本事業は、以下の三重大学中期目標・中期計画に資する取組である。

- **中期目標【第4期中期目標 1-2】：「教育の国際化の推進」**
→ 学生の国際的視野を涵養する教育機会の提供
- **中期目標【第4期中期目標 3-1】：「国際交流・連携の推進」**
→ 学術協定校との教育・研究交流の深化、人的交流の促進
- **中期計画【第4期中期計画（教育）】：「国際的素養を備えた人材の育成」**
→ 医学部におけるグローバルな視点に立つ医療人育成のための実践的教育活動

(7) その他

今後は COIL (Collaborative Online International Learning) や VE (Virtual Exchange) 等を活用し、オンラインを基盤とした交流も検討していく必要がある。直接的な人的交流の重要性を踏まえつつ、多様な形態での国際連携の可能性を探る予定である。

(様式 2-4-J)

令和6年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

「一般公開しない」

令和6年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

「一般公開しない」